

ハンケイ 5^m

手をのばせばすぐふれられる。

そんな世界を知るマガジン



vol.
11

FEATURE

ディーセントワーク・ラボ

中尾文香 さん

茶山sweets Halle

藤田公智 さん 深田幹大 さん

COVER ART OF HANKEI5m
今号の表紙アート



作品名『ぜんぶきれい』

東 環奈さんのデジタルアート

株式会社アドナースが運営する、重症心身障害児を対象とした、放課後等デイサービス「ごっこ」。小学生から高校生までの子どもたちが日々通い、絵の具を使ってみんなで一つの作品を作るなど、アート活動にも積極的に取り組んでいます。

今号の表紙は、そんな「ごっこ」に通う、中学2年生の東環奈さんによるデジタルアートです。支援学校の活動の中で描いたという本作は、ピンク、紫、青のやわらかい配色と色の滲みが美しく、心が癒されます。東さんは、生まれながらに脳性麻痺と難聴があり、意思伝達装置「スイッチ」を使って、iPadで作品を描きます。絵の右側に配置されたヒマワリはお絵かきアプリ「アイビスペイント」の素材で、印象的なコラージュになっています。本作は、社会福祉法人日本肢体不自由児協会が主催する「肢体不自由児・者の美術展 / デジタル写真展」のコンピュータアート部門で特賞を受賞しました。東さんは、家族と東京の授賞式に行ったのも良い思い出になったと、キューサイン※を用いて笑顔で話してくれました。

アート以外にも、スイッチやキューサインというツールを使いこなしながら、自分を表現する東さん。スイッチを使って手紙を書くのも大好きだそう。東さんから湧き出る創作意欲に、元気をもらいました。

※キューサインとは、子音を手で、母音を口の形で表して会話する手法。



放課後等
デイサービス
にご
Instagram



アドナース
京都音楽療法
センター
Instagram



放課後等
デイサービス
ごっこ
Instagram

ハンケイ
5m
vol.11
手をのばせば
すぐふれられる。
そんな世界を知るマガジン

CONTENTS

表2…………… ハンケイ 5m ショップ
4月～6月イベント開催情報

FEATURE 1

02…………… 中尾文香さん
「働くすべての人に 喜びと安心を」
その実現を目指し活動する
NPO法人ディーセントワーク・ラボ

FEATURE 2

06…………… 藤田公智さん
深田幹大さん
中で働く人の顔が見える、
小さな洋菓子店「茶山 sweets Halle」

10…………… 俊朗の映画話
薬剤師 DJ の音楽論

11…………… ホホホのすすめ
人形つかいパペの話

12…………… PICK UP NEWS
私が半径5mで見つけたおすすめスイーツ
あつまれ！ハンケイ5m

13…………… ハンケイ 5m vol.11 発行にあたり
RECOMMENDED CINEMA

ハンケイ5mショップ 4月—6月イベント開催情報

京都・四条烏丸にある、ハンケイ5mショップでは、
店内にてさまざまなイベントやワークショップを開催しています。
最新情報は各種SNSにて発信中！ ぜひフォローしてください。



ハンケイ5mショップ
Instagram
@hankei_5m_shop



ハンケイ5mショップ公式LINE
オンラインショップ・入荷情報は
こちらをチェック！

ハンケイ5mショップ
京都市下京区烏丸通四条下ルからす
ま京都ホテル内1F(京都市営地下鉄「四
条駅」南出口6番 徒歩1分、阪急「烏丸駅」
西出口23番 徒歩1分)／OPEN 月・水・
金・土 11時～19時／TEL.080-8500-8236
臨時休業は、Instagram・公式LINEにてお
知らせいたします。予めご了承ください。



4月

アートキャンバスサブスクリプションサービス
「amiami」
4月6日(土)～5月6日(月) ※最終日は17時まで

障害があるアーティストの作品を届けるサブスクリプションサービス「amiami」のフェアを開催します。アートキャンバスのサブスクリプション登録をすると、その日にアートキャンバスをお持ち帰りいただけます。さまざまな作品からお気に入りを見つけてみてください！ グッズ販売もあります。



5月

アトリエやっほう!!
5月10日(金)～31日(金)
※最終日は14時まで

京都市伏見区の福祉施設「京都市ふしみ学園」のアート班「アトリエやっほう!!」の小寺由理子さんによる作品展示とグッズ販売を行います。心が「やっほう!!」と踊るような作品を、ぜひご覧ください。



6月

ディーセントワーク・ラボ
6月3日(月)～29日(土)

今号の特集(P2)でも紹介している「ディーセントワーク・ラボ」は、一人ひとりの役割を認識することができる環境をつくり、障害のある人の仕事を、さまざまな業界のプロと共に見つめなおす活動を行っています。この期間中は、同法人の商品ブランド「equalto」の商品が並びます。



ハンケイ5mショップのラジオ番組 放送中！
番組名「あつまれ！ハンケイ5m」

放送日時 毎週月曜 11:00～11:06
FM79.7MHz 京都三条ラジオカフェ

無料ラジオアプリ
「Listen Radio(リスラジ)」で
ご視聴いただけます。

「誰もが安心して働ける社会」の 実現を目指して

～福祉と社会をつなぐ 「ディーセント・ワーク」の可能性～

「働く」とは、何だろう。コスト・パフォーマンスや生産性、労働力の確保や賃上げの話題……。数字を尺度として語られる世界の外側には、もっと深く、本質的な地平が広がっている。「NPO法人ディーセント・ワーク・ラボ(DWL)」の代表理事を務める中尾文香さんは、「働く」とを通して社会と福祉をつなぎ、障害の有無を問わず、誰もが安心して働ける社会の実現を目指している。法人名にもある「ディーセント・ワーク」(働きがいのある人間らしい仕事)は、国連が定めたSDGs(持続可能な開発目標)の8番目で登場する考え方だ。

「新たな変化に挑もうとする時、当たり前のように『できない』という壁が立ちます。でも、どうすれば『できる』のかをみんなで考え、目標に向かって一つ一つ積み重ねていく以外に、現状を変える方法はありません。私たちは働く人や組織の間で変化を起こす『チェンジ・エージェント』として、誰もが本来持っている力を、十分に発揮できる環境づくりに取り組んでいます」。中尾さんは働くことの本質を問い続け、手探りで挑戦を続けている。DWLの活動には3つの軸がある。障害がある人と、その環境の強みを見つけ、活かす方法を提案する「ソーシャルワーカー」。企業が障害者雇用を機に、組織や職場環境を変革する仕組みづくりや、SDGsにつながる戦略を立案する「コンサルタント」。そして、就労支援の専門家の知識や経験、つながりを活かし、あらゆる人の「ディーセント・ワーク」を追求する「研究者」。これら3

つを相互に発展させている。時間額243円では経済的自立はほど遠い

障害がある人の仕事を取り巻く状況と目標との間には、大きな隔たりがある。国の障害者雇用促進法は、民間企業(従業員40.0人以上)に対し、障害がある人の雇用率を2.5%以上とする義務を課している。厚生労働省の2023年度の障害者雇用実態調査では、民間企業(従業員5人以上)に雇用されている障害がある人は110万7千人で、前回の18年度調査から25万6千人増え、初めて100万人を超えて過去最多となった。

一方で、障害や病気により一般企業で雇用されることが難しい人たちが



DWLの活動の写真。1)「トントウフェスティバル2023」メインエリアの様子。ソーシャルインクルージョン(すべての人が社会のなかで役割があるように感じられる)を目指すイベントだ。2)「トントウフェスティバル2023」ワークショップ参加者たち。3)デンマークの障害者雇用のヒアリング調査(2023.10)4)日本の障害者雇用のヒアリング調査(2022.8)

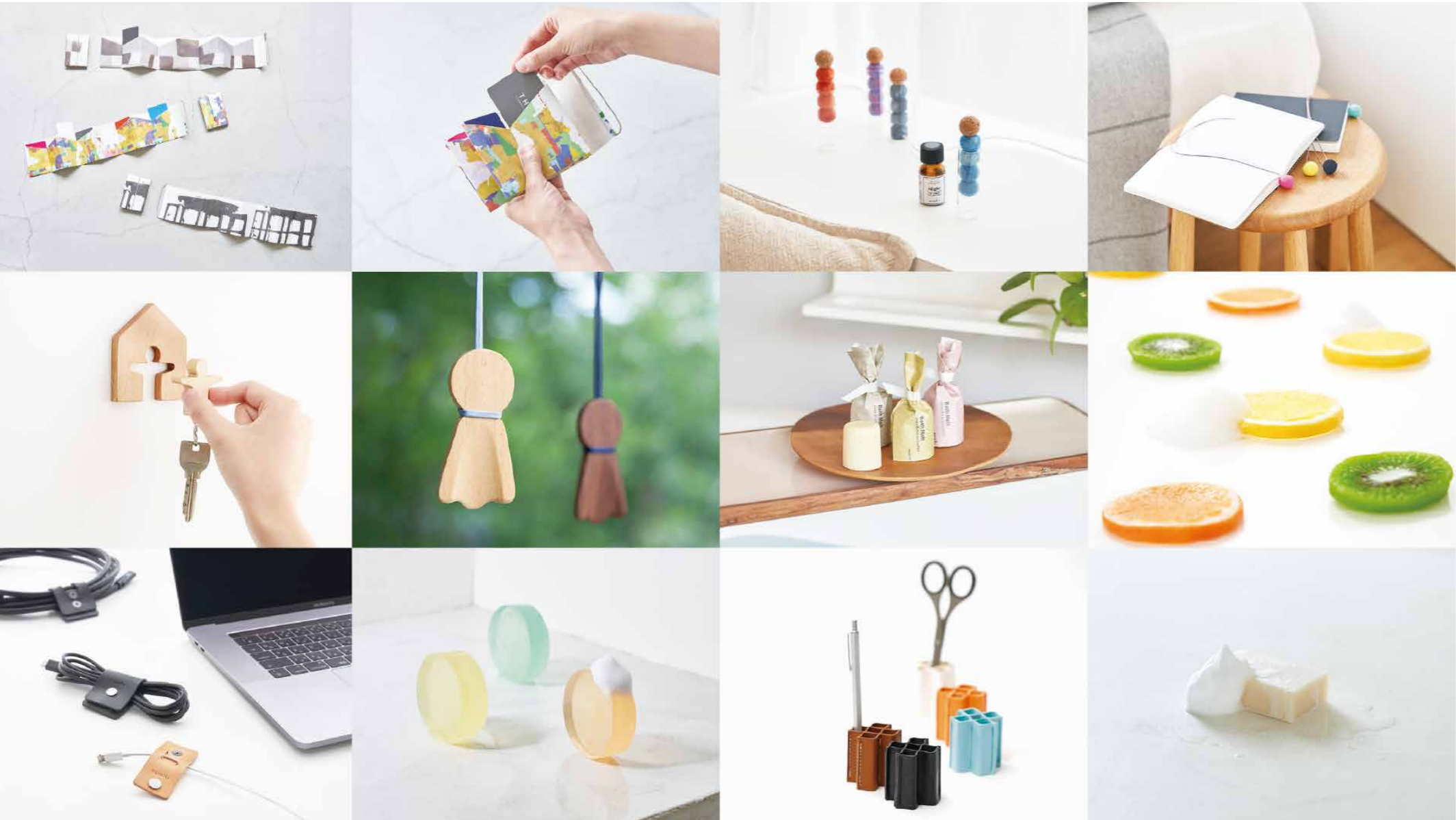


FEATURE 1

「働くすべての人に喜びと安心を」その実現を目指し活動するNPO法人ディーセントワーク・ラボ代表
なかおあやか
中尾文香さん

画像出典:『ソトコト』第23巻第1号(通巻254号) 2021年1月号 2020年12月5日発行

equalto(イクォルト)の商品。ハンドメイドソープ、仕分けしやすいカード入れ、革のコードホルダーやペンスタンド、木製の靴べらやキーホルダー、フェルトのブックマークやアロマディフューザーなど、どこかあたたかさが漂う。



が働く就労支援施設で支払われる工賃(賃金)は、依然として低い水準のままで。とりわけ全国1万5354カ所ある就労継続支援B型事業所の22年度の平均工賃は月額1万7031円、時間額に換算すると243円に過ぎない。

お菓子やアクセサリ、生活雑貨などの付加価値を高めるため、デザイナーの力で支援する「equalto(イクォルト)」という取り組みをスタートした。

「障害がある人の賃金を上げること、は、とても大事なテーマです。ただ、全員が同じように働いてお金を稼げるわけではありません。だからこそ、地域や社会の中で役割があり、役に立っていると実感できることや、仕事を通した人とのつながりなど、働くことの本質を高めることが重要だと考えるようになりました。」

ク)や生きがいのある役割(ディセント・ロール)を持ち、それを周囲の人たちとも認め合う社会を実現すること。DWLが掲げるビジョンは、中尾さん自身の経験と、大学時代に学んだ「実践としての福祉」という考え方を色濃く反映している。

大切なものの実現のために 格闘し続ける営みが「福祉」

「直接的には関わっていないのですが、振り返って『やっぱりそこだな』と思うのは、弟の存在です」。5歳下の中尾さんの弟は、生後8カ月で事故による脳内出血を負い、9時

障害がある人が働きやすい環境は、誰もが働きやすい。

間近くに及ぶ大手術で奇跡的に一命を取り留めたものの、身体障害と知的障害の後遺症が残った。中尾さんは小学生の頃から、弟が通うリハビリテーションセンターや病院を母と度々訪れた。そこには、事故や病気によって障害を負った子どもから高齢者など、さまざまな人たちがいた。

「みんな、すごく明るかったんですよ。色々な話を聞かせてくれたし、一緒にいて楽しかった。『障害があるのはかわいそうなこと』ではなく、世の中には色々な人がいる。また『できることだっただけたくさんある』という当たり前の事実を、弟やそこで出会った人たちと過ごす時間の中で知ることができました」。

将来は人と関わる仕事がしたい。そんな漠然とした思いを抱いて、中尾さんは高校卒業後、埼玉県立大学の社会福祉学科に進学する。当時開学3年目だった大学は、新たな創造のエネルギーに満ちていた。

「大学の先生が全員、実践家の先生だったんです。戦後の日本の福祉制度を実際に作ってきた方たちばかり。障害福祉や児童福祉などあらゆる分野の先生から、現場でのリアルなエピソードを直接聞くことができました」。

実践家である先生たちが、口を揃

えて言うことがあった。「制度は作るものだ」。人間が生きる上で根源として大事なことを、現実の社会の中で形にしていく。そのために様々な障壁と格闘し続ける営みが、福祉なのだ」と知った。

「働く」を通じて

誰もが社会とつながれる

「何らかの要因で元々持っている力を発揮できない状態の人たちが、自分にも力があることを思い出し、どうすればそれを発揮して社会参加できるか。福祉は、それを現場で考え続けてきた学問です。そういう福祉の根底に触れ、私は希望を見つけることができました。今では、障害がある人が働きやすい環境は、結局誰もが働きやすい、と痛感しています。『働く』ことを通して、誰もが社会とのつながりを持つことができます。そこから多くの可能性が広がると思います」。

「働く」こと本来の意味に目を向けると、誰にとっても働きやすい場所になるための変化も生まれる。多様な人たちがそれぞれの個性や能力を存分に発揮できる「ダイバーシティ&インクルージョン」は、私たちの中の小さな気づきから始まるのだ。

中で働く人の顔が見える、
小さな洋菓子店

「茶山 sweets Halle」
ワークセンターHalle！
センター長

藤田公智さん



叡山電鉄茶山・京都芸術大学駅のすぐ近く、線路沿いにある小さな洋菓子店「茶山 sweets Halle」。大きなガラス窓が目を引く店内に一步入れば、ふんわりとしたバターの香りに包み込まれる。カウンターには名物のパウムクーヘンやマドレーヌ、クッキーなどの焼き菓子を中心に約30種のスイーツが並び、窓から見える工房では、コックコートにエプロン姿の人たちが真剣な表情でお菓子作りに励んでいる。

2018年1月のオープンから今年で7年目を迎えたこのパティスリーは、障害の有無に関わらず地域の中でともに働く場として、就労継続支援B型施設「ワークセンターHalle」が運営している。目指すのは、京都府特産の厳選素材を活かしたお菓子作りと、住み慣れた地域で一人暮らしが実現できるような高工資の仕事を創出すること。センター長の藤田公智さんに、ワークセンターHalleの取り組みと、お菓子作りに込めた思いについて聞いた。

——「茶山 sweets Halle」では「京都の素材のおいしさを、お菓子を通して伝えたい」という思いから、ワークセンターHalle！

「福祉の授産品」ではなく

「美味しい」から選ばれるお菓子を目指す。

に通う利用者の方とパティシエが、日々、美味しいお菓子を製造されています。厳選された京都府産の逸品素材を使ったお菓子は、コンテストでグランプリに選ばれるなど、高い評価を受けています。

ありがとうございます。パティスリー「茶山 sweets Halle」で提供しているお菓子はすべて、ワークセンターHalle！の製菓班が手作りしています。製菓班は利用者9人をはじめ、専属パティシエ2人、支援スタッフ1人が在籍しています。

運営母体は社会福祉法人修光学園で、約30年前から、障害がある利用者と一緒に洋菓子製造を行ってきました。現在の製菓班の前身にあたる「HOLYLAND」を2004年に京都市左京区で開設し、そこでは焼き菓子やケーキなど様々なお菓子作りに取り組んできました。そのノウハウを活かし、パティスリー「茶

山 sweets Halle」では地

元・京都府産の厳選素材を使って洋菓子を製造販売しています。

南丹市美山町と左京区久多で採れるトチの蜂蜜を使った『蜜玉まどれーぬ』、米をテーマにした府内産食材のパウムクーヘン『米幸（こめこ）パウム』は、お菓子コンテストでグランプリや審査員優秀賞をいただきました。

「福祉の授産品」ではなく、純粋に「美味しい」という理由で選ばれるお菓子を目指しています。そのため、専属パティシエが知恵を絞り、素材やレシピは徹底してこだわっています。また、府内の生産者の方々と交流し、農業と福祉が融合した農福連携の取り組みをしながら、京都の特産素材を使った新たなお菓子作りにも力を入れています。

——京都ならではの素材と、製菓班のみなさんの丁寧な仕事によって、食べた人が笑顔になる美味しいスイ

ーツが生み出されているんですね。

従来から福祉作業所が製造している授産品は、低価格で販売することが半ば当たり前のように考えられていました。「茶山 sweets Halle」で販売しているお菓子は、パウムクーヘンが1500、2000円、マドレーヌやドーナツなどは1個250円前後と、一般の洋菓子店と同程度の価格です。厳選した素材でしっかりとした商品を作っている以上、相応の価格で販売することを大切にしています。

利用者は自分たちが作るお菓子や、店舗で販売することで、自分たちの価値を認められる。また、お客様の姿を目の当たりにでき、自信にもつながっています。働いている利用者の方たちが正当な工資を得て、障害年金と合わせて一人暮らしができることを実現するためには、ぶれずに挑戦することが必要だと思っています。





茶山sweets Halle

京都丹波産の風味豊かなこだわりの卵をはじめ、美山の貴重なトチ蜂蜜、京丹後の海が育んだ手作り塩、水尾の柚子、宇治田原の抹茶、大原・百井の菊芋など、京都府内で生産される厳選素材を使った焼き菓子を中心に、スイーツを製造販売している。伏見区の農家から仕入れる「米粉」、鶏の飼料に米を与えた「米卵」、米と麦芽を糖化させて作る甘味料「米あめ」で作るバウムクーヘン『米幸(こめこ)バウム』は、2019年の「パティスリー あすのKyotoカップ」グランプリと、100人の一般投票で決まる審査員優秀賞をW受賞。一部の商品はインターネット通販でも購入できる。

【住所】京都市左京区田中北春菜町14-1 (叡山電鉄「茶山」・京都芸術大学駅)から徒歩1分)
【営業時間】10時～17時 【定休】日、月、第1・3・5土曜 【TEL】075-706-2402



オンラインショップは
こちらから



左から藤原達也さん、深田幹大さん、吉田裕美さん

一流の設備とみんなの技術で 他にない新しいスイーツを生み出したい

ふか だ もと ひろ
パティシエ 深田幹大さん

パティシエの深田幹大さんは、「茶山sweets Halle」の新商品のレシピ開発や、製造作業のアドバイザーを行っている。製菓の専門学校を卒業後、京都市内の有名洋菓子店で修行を積んだ深田さん。知人の紹介を受け、約10年前に「HOLY LAND」に転職した。

「利用者の皆さんが僕を受け入れてくれるかどうか、最初は不安があったんです」。そんな深田さんに、製菓班のリーダー的な存在だった利用者の男性が積極的に声をかけてくれたという。「おかげで、他のみんなも話しかけてくれるようになって、打ち解けるきっかけをつかめました。今

もパティシエとして続けることができてるのは、その方の存在が大きいです」と振り返る。

工房には大型オーブンをはじめ、バウムクーヘン専用オーブン、スチームコンベクションと3台のオーブンがそろう。泡立て器やゴムベラなどもすべてプロ用の調理道具を使っている。深田さんは「これだけの設備がそろったパティスリーは、そうはありません。設備とみんなの技術が合わさって、他にはない新しいスイーツが生まれます」と話す。

工房で働いている様子が「小さな子どもでも見えるように」カウンターの横の窓は床からの高さを80センチ

ほどと、あえて低く設計している。製菓班の藤原達也さんと吉田裕美さんが、成形したクッキー生地を一枚ずつ鉄板の上に並べていく。丁寧にテンポの良い手さばきは、まさに熟練の製菓職人。深田さんは「障害のある人が『お菓子を作っている』『仕事をしている』ということを、身近に感じてもらいたい。それが一番の思いです」という。

スイーツは作り手の人柄を物語る。愛と、希望と、情熱と。レシピに込めた思いの深さが、「茶山sweets Halle」のお菓子を格別な味わいに仕上げている。

Recommended Movies 俊朗の映画話

年間100本映画を見る
俳優・福山俊朗の映画コラム



福山 俊朗

神戸大学在学中に劇団そとばこまちに入団、15年間に在籍フリーに。舞台・テレビ・映画に多数出演。FMラジオのDJ、歌のお兄さん、映画監督などマルチに活躍中。

サッカーWC予選で31対0という歴史的な大敗を喫した米領サモアに、アメリカから新しいコーチがやってきてチームを立て直そうとするお話。そして実話です。

チームにはいろんな人がいます。その中に「第三の性」と呼ばれる、体は男性で心は女性の選手がいます。身なりも仕草もとてもしなやかですが、チームの中では選手でいることがごく普通です。でもコーチの目には不思議に映ります。なぜでしょう？それは先入観と偏見以外のなにものでもありません。

サモアの選手もスタッフもサッカーは下手だし、いい加減だし、チームとしては全然ダメです。でも彼らは「生きる」のに一番大事なことは何かを肌でわかっているように感じました。うまくいかず自暴自棄になるコーチに協会の理事長が「何よりもまずあなたが幸せでいてほしい」と言うシーンには心を打たれました。定石だとそのコーチが「いまを生

きる」のロビン・ウィリアムズみたいな人で、その人の型破りな指導のもとみんなの目から鱗が落ちるというものです。でもこの作品ではコーチが弱小チームと対峙することで、逆にいろんなことに気づき成長していきます。そしてそれを見ている私たち観客も同じように成長した気持ちにさせてくれます。

「ジョジョ・ラビット」のタイカ・ワイティティ監督の卓越した笑いのセンスと人間への深い愛が心に沁み作品でした。



ネクスト・ゴール・ウィンズ
2023 / イギリス・アメリカ
監督: タイカ・ワイティティ
出演: マイケル・ファスベンダー、オスカー・ナイドリー、エリザベス・モス
©2024 20th Century Studios. All Rights Reserved.

Recommended Books ホホホのすすめ

ホホホ座座長・山下賢二が
語るおすすめブックス談



山下 賢二

出版社勤務や書店員などを経験し、2004年に「ガケ書房」を開業。2015年移転・改名し、本屋であり雑貨屋でありお土産屋でもある店「ホホホ座」をオープン。

今回は僕の新作『君はそれを認めたくないんだろ』をご紹介。十年間、色々な媒体で書いてきたエッセイに書き下ろしを加えた内容だが、実際にあった出来事を通して、実は自意識について書いている。

僕は、幼い頃に観察癖が身についてしまった。それは四才から十二才まで筆談で生活していたという時間があったからだろう。例えば、友達四人と集まっても三人が喋っているのを「客観的に見る」という構図がいつも自動的に出来上がった。常に傍観者で僕はそこにいた。

その癖は、テレビを観ているときでも発揮され、例えば今回の本で言えば、東京進出したばかりの若きダウンタウン・浜田が当時の先輩たちに番組中に吐いた芸人としての言葉や、尾崎豊が亡くなったときに矢沢永吉はそれについてなんと発言したか、など記録に残っていないが僕の記憶に残っている言葉や態度を書き記している。



君はそれを認めたくないんだろ
山下賢二・著
(TWO VIRGINS)
1,980円(税込)

あとは自身のケガや身体の不調で初めて獲得できた視点についても書いている。二〇二三年の僕はずっと身体がおかしかった。そのことにより、これまでどこかで見て見ぬふりをしてきた人に気がついたり、苦手になったりした。

特典冊子には近い関係の人が僕について寄稿している。松本隆（作詞家）、堀部篤史（誠光社）、廣田瑞佳（ホホホ座スタッフ）、山下睦乃（娘）。本編は主観、冊子は客観で立体的な僕が立ち上がる本になっている。

Recommended Music 薬剤師DJの音楽論

ゆう薬局の薬剤師による
イチオシ音楽紹介



船戸 一晴（キャッチー船戸）

ゆう薬局の薬剤師、ラジオパーソナリティ、DJ。FMたんご：みゅ〜じゅくばふえCatchy（水曜12時〜）。FMまいづる、Radio Mix Kyoto：Premium Kyoto（月曜16時〜）。

今回は最新アルバム『エターナル・サンシャイン』が大ヒット中の歌姫、アリアナ・グランデを紹介させて下さい！先行シングル『Yes, and?』ではダンスパルナポップ・トラックに乗せて、周りが何と言おうと気にせず自分らしく進もう、という力強いメッセージが歌われています。また、「体型についてのコメントはやめて」「私の顔はそのまま変装する必要もない」など、誰もがありのままの姿でいられる事を肯定する言葉が綴られています。

そんなアリアナですが、フェミニズムやマイノリティに対する姿勢はデビュー時から一貫しています。印象的だったのは2015年11月、SNSでアリエル・ウィンターのカービー（ふくよか）な体型と比べられて批判にさらされたアリアナはInstagramにこんなメッセージを投稿しています。

「いまは女性も男性もありのままの自分を受け入れられない風潮があるけど、本当は多様性こそがセクシーなんだよ。自分を愛することこそがセ



エターナル・サンシャイン
ユニバーサル ミュージック

Recommended Entertainment 人形つかいパペの話

最小のキャバで
最高のエンタメを！
人形つかいパペの奮闘記。



人形つかいパペ(佐藤謙)

京都大学卒業後、スタジオジブリに入社。雑誌編集職を経験し、日本テレビへ転職。映画プロデューサーとして活躍後、独立。現在、人形つかいとして、京都を拠点に活動。

人形劇の修業を始める少し前のことです。私には人形劇の話を躊躇する相手がいきました。スタジオジブリの鈴木敏夫さんです。小学生の頃、テレビのドキュメンタリーに映る鈴木プロデューサーを見てからずっと惹かれ、大学時代に手紙を書いて取材をしたことが縁でジブリへ入社。鈴木さんと同じマンションで生活しながら仕事をしました。そんな日々は20代後半にテレビ局へ転職してからも続き、いつしか私は鈴木さんと同じ「映画プロデューサー」になっていました。

映画の道を諦めて、人形劇を選ぶことを鈴木さんへ伝えようとすると、鈴木さんとの日々を無かったことにするような心持ちがし、胸が裂けるような痛みがありました。ある日、一緒に銭湯へ行き、湯舟につかっていると、鈴木さん、報告したいことがあって。意を決して、口を開きました。「これから人形劇の修業をしようと思います」。緊張で声は



インタビュー本『ALL ABOUT TOSHI SUZUKI』の中で、「佐藤謙…公私ともに鈴木をよく知る人物」とパペは紹介されている。

震えていました。鈴木さんは一瞬驚いた顔をしたのち、バツと笑顔になりました。なんと「実は俺も人形劇をやっていたんだよ」と大学時代の話を聞かせてくれたのです。それだけでなく、高畑勲監督や宮崎駿監督を始めとするジブリの面々が人形劇とどれだけ深い縁があるのかを教えてくださいました。

私は心底驚きました。自分の直感だけで人形劇を見つけたと思っていたのですが、私の近くにはこんなにも関係する人がいたのです。私の好きな人たちは、もうずっと前に人形劇と出会っていた！

のちに、3ヶ月ほど京都を離れて、鈴木さんの部屋に滞在し、人形劇団ブークで修行をしました。病院のそばで出会った、あの劇団です。

ハンケイ5m

手をのばせば
すぐふれられる。
そんな世界を知るマガジン

vol.11 発行にあたり

「equalto」の
可愛い色合いの商品に心躍ります！
5mショップに行くぞ〜！
鈴木穂乃（編集）

障害がある人が働きやすい職場は
誰もが働きやすい職場。
目から鱗の言葉でした。
円城新子（編集）

働くこと、生きる糧、人と人のつながり。
きれいごと？いや、ほんとうのことだ。
龍太郎（ライター）

やわらかで幻想的な色彩のたゆたいのなか、
凜とした心象のアクセントがある東環奈さんのアート。
その緩急の美しさに魅せられました。
森 華（デザイン）

最近、身近にある素敵な無料に興味があります。
ただだから気が付いていない価値あるものが
ハンケイ5mにはありそうです。
鎌田智広（スペシャルアドバイザー）

「制度は作るものだ」
他人事ではなく
考えていきたいです。
中山みゆき（編集）

Halle!で働く皆さんの雰囲気が大好き。
人との出会いが人生を豊かにする。
山田梨世（編集）

「むずかしいことをやさしく、
やさしいことを深く、深いことを面白く」。
故・永六輔さんの言葉をかみしめます。
呉玲奈（編集）

あたたかみのある
equaltoの商品の数々。
置いてるだけで
日常がほっこりしそうです。
北原靖浩（デザイン）

『ダイバーシティ&インクルージョン』
自分には何が出来るのか、、、
何が出来ていないのか、、、
辻正美（カメラ）

あらゆる人々が働きやすく、生きやすい社会の
実現を目指す一員になることを決意しました。
福島明彦（校正）

RECOMMENDED CINEMA

京都シネマおすすめ映画



4/12(金)公開
かづゑ的
2023 | 日 | 119分
監督:熊谷博子
©Office Kumagai 2023
https://www.beingkazue.com/

国立ハンセン病療養所「長島愛生園」で暮らす、宮崎かづゑさんの毎日を8年かけて取材したドキュメンタリー。病気の影響で手の指や足を切断、視力もほとんど残っていないにもかかわらず、78歳でパソコンを覚え、84歳に本を出版。「できるんよ、やろうと思えば」。いつも新しいことに挑戦する“かづゑ的”姿勢は、生き抜くために必要な愛情と知識の大切さを教え、勇気と元気をくれる。

上映情報のご確認はこちら
京都シネマ www.kyotocinema.jp
📍京都市下京区烏丸通四条下西側 COCON烏丸3F ☎075-353-4723

アップリンク京都おすすめ映画



5/17(金)公開
ありふれた教室
Das Lehrzimmer | 2022
独 | ドイツ語 | 99分
スタンダード | 5.1ch
監督・脚本:イルケル・チャクタ
出演:レオニー・ベネシュ
© if... Productions/ZDF/arte MMXXII

とある中学校に赴任してきたポーランド系ドイツ人女性のカーラは、仕事熱心で責任感が強い若手教師。そんなある日、校内で相次ぐ盗難事件の犯人として、カーラの教え子が疑われる。校長たちの強引な調査に反感を覚えたカーラは、独自に調べを進めるのだが……。 現代社会の縮図というべき“学校”を舞台に、若き女性教師の悪夢のような極限心理をあぶり出すサスペンス・スリラー。本年度アカデミー賞国際長編映画賞ノミネート作品。

上映情報のご確認はこちら
アップリンク京都 <https://kyoto.uplink.co.jp/>
📍京都市中京区烏丸通姉小路下ル場之町586-2 新風館 地下1階 ☎075-600-7890

ハンケイ5m

手をのばせば
すぐふれられる。
そんな世界を知るマガジン

2024年4月8日発行

発行 株式会社アドナース
京都市西京区大原野西境谷町2丁目14-10
075-754-6174
株式会社ユニオン・エー
京都市左京区北白川西平井町22-2
075-724-0410

企画・制作 株式会社ユニオン・エー

Staff 円城新子
山田梨世
呉玲奈
中山みゆき 鈴木穂乃
久野泰輝 木村実那子 福島明彦
龍太郎
辻正美
北原靖浩
もりはなぐみ

スペシャルアドバイザー 鎌田智広

掲載データは、2024年4月現在のものです。あらかじめご了承ください。本紙掲載の記事・写真・イラストの無断転用を禁じます。Copyright©2024 ADNURSE Corp.・union.a Corp.All rights reserved.

PICK UP NEWS

障害のある作家の作品を扱うギャラリー「art space co-jin」 今春は、5名による写真展開催！

京都市上京区・荒神口にある、障害のある人の作品や表現に出会えるギャラリー「art space co-jin」。その名には、荒神口(こうじんぐち)の読み方にちなみ、coは「共」、jinは「人」の文字が持つ意味も込められています。運営は、きょうと障害者文化芸術推進機構(事務局 京都府障害者支援課)で、絵画、写真、陶芸、インスタレーションなど、さまざまな企画展やイベントをしています。

4月12日から始まる展覧会「Co-pic」は、5名の作家による写真作品の企画展です。レンズは外の世界を見るための窓ではなく、シャッターを押す時に左手をかけるためのちょうどよい突起物であるとする、山口慧太郎。コピー機で、自身の顔を複写するという衝撃的な行為を20年続ける、井口直人。思い出のある写真を愛でるように触れ、風合いを変化させる、杉浦篤。日々自身のファッションを記録する、中田啓瑛。写真が他者とのコミュニケーションの一つである、米田祐二。それぞれの個性あふれる表現の違いを楽しんでください。

Co-pic

2024年4月12日(金)～6月23日(日) / 10:00-18:00 / 月曜休廊 / 入場無料
art space co-jin (住所:京都市上京区河原町通荒神口上ル宮垣町83 レ・フレール1階)

主催:きょうと障害者文化芸術推進機構 art space co-jin
協力:社会福祉法人 さふらん会 さふらん生活園、社会福祉法人 みぬま福祉会 工房集、一般社団法人 ヴァリアスコネクションズ ツナガリの福祉所

ハンケイ5mショップのラジオ番組 放送中! 「あつまれ! ハンケイ5m」

ハンケイ5mショップ店長の京野朱莉さんがパーソナリティを務めるラジオ番組「あつまれ!ハンケイ5m」。毎週月曜の11時から6分間、ハンケイ5mショップの月替わりフェアに関連したゲストと一緒にトークをしています。



放送日時 毎週月曜 11:00～11:06
FM79.7MHz 京都三条ラジオカフェ
無料ラジオアプリ
「Listen Radio(リスラジ)」で聴けます!

詳細はこちら



アドナースpresents 私が半径5mで見つけた おすすめスイーツ

アドナース
音楽療法センター
三好日帆



ジブリ大好き!の私がオススメするのは東京にある「白髭のシュークリーム工房」のシュークリーム。可愛いだけでなく、味とっても美味しいんです。旅行のお供にいかが？



× *union.a*

